

令和4年10月17日(月)

令和5年度(2023年)入試用



3年 組 番 氏名( )

# 目次

P. 1	…	1. 進路決定に向けて	
P. 2	…	2. 都立高校の入試概要	
P. 2	…	【1】令和5年度入試の変更点	
P. 3-6	…	【2】推薦入試について	
P. 7-10	…	【3】学力検査に基づく選抜(第一次募集・分割前期募集)について	
P. 11-12	…	【4】学力検査に基づく選抜(第二次募集・分割後期募集)について	
P. 13	…	【5】インフルエンザ等に対する追検査および追々検査について	
P. 14	…	【6】調査書について	
P. 15	…	3. 私立高校の入試概要	
P. 15	…	【1】入試形態について①(単願推薦・併願優遇制度)	
P. 16	…	【2】入試形態について②(第一志望優遇、自己推薦入試・一般入試)	
P. 17	…	【3】推薦入試のまとめ	
P. 18	…	【4】小金井市中学校推薦統一基準について	
P. 19	…	【5】企業内高校・都立技術専門校高等専修学校、就職について	
P. 20-26	…	4. 資料	
		【1】今後の主な提出書類一覧	【2】都立高校用入学願書
		【3】都立高校用調査書	【4】自己PRカード
		【5】調査書用記載事項確認書	【6】推薦・併願優遇願見本

## 1. 進路決定に向けて

### 【内申点向上に向けて】

(1) 学校の授業を大切にす。

毎時間の授業を大切にしましょう。50分間の授業に集中すれば、知識の理解も深まり、技能も向上していきます。

「塾で頑張っ学校で息抜き」では、本末転倒です。合唱でも意識してきたように、全員が心を一にして真剣に取り組み、互いに教え合い、励まし合い、支え合い、高め合えば必ず学力は向上します。そんな雰囲気を、共に創り上げていきましょう。

(2) 全教科の授業に真剣に取り組む。

得意教科だけでなく、不得意な教科の授業にも全力で取り組みましょう。また、受験勉強のみにとられず、「なぜ?」「どうして?」「本当にそうなるのか?」と問題意識を持って取り組み、解決するために思考し、表現していくことが大切です。高等学校等に進学後、より高度な内容の学習を行なうことを前提に、全教科の授業に真剣に取り組みましょう。

### 【入試得点力向上に向けて】

(1) 学習「時間」を考える。

家庭に帰ってから平均何時間、学習に取り組んでいますか。勉強時間には個人差がありますが、量を多くこなすことで学習内容の質にも影響を与えます。最初は短い時間でも構いません。継続して粘り強く学習に取り組む経験は、これからの人生において、貴重な経験となります。家庭でまとまった時間の学習を、習慣にしていきましょう。

(2) 学習「内容」を考える。

ア 宿題・復習・予習の三つは毎日の授業に欠かすことのできないものです。

学力充実のための学習には、基礎的なものを中心とした学習と応用的・総合的な学習があります。

※夏休み前には、1、2年生の復習に力を入れて、不得意教科の克服をしようと言っていましたが、克服できましたか。

できていない人は今からでも遅くありません。問題集を中心とした学習でも基礎的なものから、取り組んでください。

イ どの教科でも問題を解いていく過程に、自分の理解度を知るポイントがあります。間違えた問題の解答に至る思考過程を振り返り、一度間違えた問題は、二度と間違えないように復習することが、学力の向上につながります。

ウ 試験の出題傾向を探ることによって出題の範囲と程度がわかり、自分の理解度に応じた学習ができます。過去問には直前に取り組むのではなく、入試当日までの時間的余裕を持って取り組んでみましょう。過去問の出題傾向の分析等についてよく読み、対策しておきましょう。試験当日の得点に大きく影響していきます。

(3) 家庭での学習「方法」を工夫する。

一般的な一週間の学習計画表を作ってみてください。学習計画だけでなく、健康を維持するために十分な睡眠時間も確保しましょう。休憩時間も設けた上で、勉強時間の配分を考慮して効率よく学習に取り組むことが大切です。

### 【適正について】

中学校3年間で経験したことや学んできたことを初対面の方に伝えるためには、伝えたい内容をまとめ、適切な表現を使用する発信力を高めていく日々を送ることが大切です。日々の学校生活の中で、授業や行事、学級活動の中で様々な物事に関心を持ち、関わりをもって行動していく日々を積み重ねることが発信力を高めていきます。

また、TPO(時・場所・状況)に応じた礼儀作法も身につけることが大切です。

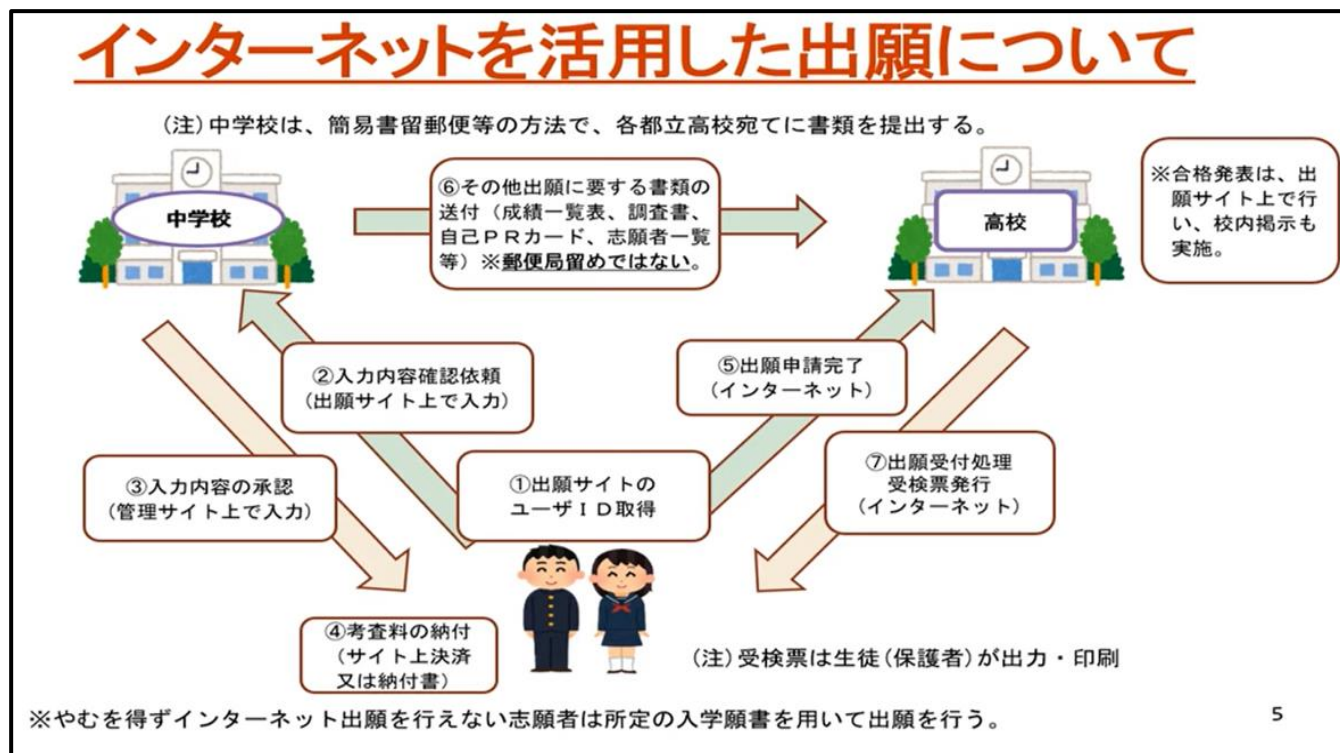
## 2. 都立高校の入試概要

### 【1】令和5年度入試の変更点について

#### ① 出願手続きについて

##### 入学願書等提出方法

- ・推薦に基づく選抜及び学力検査に基づく選抜(第一次募集・分割前期募集)では、全校でインターネット上の出願サイトで志願者情報を入力します。
- ・令和4年12月20日(火)からインターネット上の専用サイトに必要事項を入力できます。
- ・出願に要する書類は、中学校を通じて志願先の都立高校に送付します。
- ・出願サイト上で受験票が交付されます。\*やむを得ず、インターネット出願が出来ない方は、紙での出願となります\*



#### ② 男女別定員制の緩和措置の拡大について

単位制・コース制の学校を除く全日制普通科高校の全校において、募集人員の2割に相当する人員を、男女合同の総合成績順により決定し合格候補者とします。なお、単位制・コース制の学校は、男女枠がありません。

#### ③ 出題範囲について(中学校英語スピーキングテスト)

一般入試の総合得点に中学校英語スピーキングテストの点数(20点満点)を加点して、合否を判定します。

試験日:令和4年11月27日(日) 13:00 ~ 15:40(予定) 予備日:令和4年12月18日(日)

#### ④ 入学願書の性別欄廃止

#### ⑤ 自己PRカード・自己申告書・志願申告書の記入方法について

黒いボールペンでの記入以外に、電子ファイルでの入力と印刷が出来るようになります。東京都教育委員会 HP にファイルが掲載される予定です。

#### ⑥ 不正行為への厳正な対応について

検査時間に監督の指示に従わない場合や、情報通信機器を使用した場合の対応について明記されました。

#### ⑦ 入学考査料の納付を出願サイト上で決済が出来るようになります。納付書による決済の場合、領収証書の画像を出願サイトにアップロードする形になります。

## 【2】推薦入試について

〔推薦に基づく選抜の日程〕（一般推薦・文化スポーツ等特別推薦・理数等特別推薦）

事 項	日 時
出 願	インターネットを活用した出願 （入力期間） 令和4年12月20日（火）から令和5年1月18日（水）まで （書類提出期間） 令和5年1月12日（木）から1月18日（水）まで
検 査	令和5年1月26日（木）、27日（金）
合格者の発表	令和5年2月 2日（木） 午前8時30分（出願サイト上で発表）午前9時30分（校内掲示）
合格者の入学 手続	令和5年2月 2日（木） 午前9時30分～午後3時30分 2月 3日（金） 午前9時～正午
選抜用評定等確 認表の送付期限	令和5年3月 2日（木）～3月8日（水）

★対象学科および募集人員 …「令和5年度都立高等学校第1学年生徒募集人員による」

### ①『応募資格』

- ・志願する都立高校を第一志望とする者 ・令和5年3月に、東京都内の中学校を卒業する見込みの者。
- ・保護者と同居し、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

#### 「一般推薦」

一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者。

#### 「文化・スポーツ等特別推薦」

特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者。

#### 「理数等特別推薦」（立川高校創造理数科のみ）

特別推薦（理数）に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者。

### ②出願方法

#### (1) 一般推薦

志願者は、1校1コース 又は1科（1分野）に限り出願します。志願変更はできません。

志願する同一の都立高校内にある同一の学科内に、2コース以上、同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合（芸術に関する学科を除く）は、第2志望として他の1科（1分野）に限り指定することができます。ただし、同一の都立高校内に、「普通科とコース」または「農業科と家庭科」等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできません。

（例1）第1志望を瑞穂農芸高校の農業に関する学科の園芸科学科とした場合、第2志望を同じ学科の畜産科学科とすることはできるが、家庭に関する学科の生活デザイン科を第2志望とすることはできない。

（例2）第1志望を松が谷高校の外国語コースとした場合、第2志望として普通科を指定できない。

（例3）第1志望を八王子桑志高校の産業科デザイン分野とし、同じ学科のクラフト分野を第2志望として指定できる

#### (2) 文化・スポーツ等特別推薦

志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科（分野）に限り出願します。志願変更はできません。なお、当該都立高校の一般推薦にも出願することができます。

（その場合、受検料は2回分になります。）

#### (3) 理数等特別推薦

志願者は1校1科に限り出願します。志願変更はできません。また、他の推薦に基づく選抜に出願することはできません。

### ③ 出願手続

志願者の手続は、以下のような書類を志願する都立高等学校長に提出することになります。

#### (1) 一般推薦

- ①入学願書
- ②調査書
- ③一般推薦書
- ④志願理由書(自己PRカード)
- ⑤入学考査料 全日制2,200 円

(所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納入した領収証書を入学願書の裏面に貼り付けます。)

#### (2) 文化・スポーツ等特別推薦

- ①入学願書(一般推薦を同時に志願する場合は、特別推薦の内容と併せて1枚の入学願書に記入する。)
- ②調査書
- ③文化・スポーツ等特別推薦書
- ④志願理由書(自己PRカード)
- ⑤入学考査料 2,200 円

(所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納入した領収証書を入学願書の裏面に貼り付けます。

一般推薦を同時に志願する場合は、一般推薦の出願にも入学考査料が必要となります。(合計で4,400円)

その際は、領収証書2枚を入学願書の裏面に貼り付けます。願書の裏面を参照してください。

※一般推薦を同時に志願する者であっても、調査書及び自己PRカードは1部のみ提出となります。

#### (3)理数等特別推薦

- ①入学願書
- ②調査書
- ③理数等特別推薦書
- ④志願理由書(自己PRカード)
- ⑤科学分野等の研究に関するレポート(A4版2枚以内、様式任意)[レポートに関する口頭試問があります。]
- ⑥入学考査料 2,200 円

#### ④検査等の実施

##### (1) 検査内容

- ア 一般推薦の志願者全員に個人面接を実施します。集団討論は実施しません。また、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施します。特別推薦の志願者全員に、個人面接または集団面接および実技検査を実施し、その他の検査内容については、当該都立高校長が定めます。
- イ 一般推薦における小論文又は作文等の検査の実施については、後日配布予定の「令和5年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

#### ⑤選考

##### 「一般推薦の選考の基本方針」

- (1) 選考は各高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、調査書、個人面接、小論文又は作文等の検査を総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料(自己PRカードを含む)により行います。  
(令和4年度入試の例:小平南高校 調査書450点、個人面接225点、小論文225点)  
※11月上旬配布予定の「令和5年度東京都立高等学校募集案内」冊子の入試実施方法一覧に掲載されます。

(2) 全ての都立高校で、調査書における各教科の観点別学習状況の評価(全27観点)または評定(9教科)のどちらか一方を調査書点として点数化します。ただし、調査書点の上限は総得点の50%となります。

- ア 観点別学習状況の評価(全27観点)を用いる場合は、各都立高校の特色に応じて特定の観点の配点を高くするなどして活用します。
- イ 評定を用いる場合は、各教科の評定に比重をかけることは行いません。
- ウ 観点別学習状況の評価や評定の欄に斜線/のある調査書の各教科の学習の記録の処理方法については、各都立高校が適切に定めます。
- (3) 自己PRカードは点数化しません。なお個人面接に当たっては自己PRカードを面接資料として活用します。
- (4) 個人面接、小論文又は作文等の検査については、各都立高校が適切に基準を定めてそれぞれ点数化します。

##### 「特別推薦の選考の基本方針」

- (1) 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づいて行います。
- (2) 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定めます。  
個人面接または集団面接および実技検査のほか、小論文または作文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用います。(令和4年度入試の例、小平西高校:硬式野球6人、調査書450点、集団面接180点、実技270点)
- (3) 調査書における各教科の観点別学習状況の評価または評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が適切に定めます。
- (4) 受検者のうち各都立高校が定めた基準に達していると認められた者の中から合格候補者を決定します。
- (5) 志願者は、同一日に実施している当該校の一般推薦にも出願することができます。

### 「理数等特別推薦の選考の基本方針」

- (1) 選考は、立川高校があらかじめ定めた選考方法に基づいて行います。
- (2) 選考に当たっては、立川高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定めます。個人面接および科学分野等の研究に関するレポートに関する口頭試問、小論文の検査を組み合わせ、選考資料として用います。なお、自己PRカードは面接資料として活用されます。
- (3) 調査書における各教科の観点別学習状況の評価または評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に立川高校が適切に定めます。
- (4) 受検者のうち立川高校が定めた基準に達していると認められた者の中から合格候補者を決定します。

### 都立高校の推薦入試の応募状況

昨年度の普通科の推薦入試倍率は、男子 2.87 倍、女子 3.58 倍(コース制・単位制除く)、計 3.21 倍でした。

これらのデータから言えることは、推薦入試は3人に1人しか合格しないということです。

推薦入試では、すべての学校で、作文・小論文・実技検査のいずれか一つと個人面接が義務付けられています。

面接準備等に時間はかかりますが、個人面接、作文・小論文の出来次第で、合格の可能性を上げるとも言えます。

推薦入試で不合格だった場合には、合格の可能性が低いとはいえ、少なからずショックを受けてしまいます。

そこから気持ちを切り替えて、一般入試(第一次募集・分割前期募集)に向けて、勉強に取り組まなければいけません。「3週間後の一般入試も頑張ろう」というくらいの気持ちで、発表を見に行く心の準備も必要です。

一般入試直前の最も大切な時期に、勉強に集中できず、まとめができなくなってしまうこともあり得るからです。

## 都立 推薦入試の選考方法

必須

- ◆ 調査書点  
(総合成績の50%以下)
- ◆ 個人面接・

選択

- ◇ 小論文点又は作文点
- ◇ 実技検査点
- ◇ 学校設定検査点

総合成績

※『自己PRカード』  
は個人面接の資料として活用します。

## 都立推薦入試 選抜方法

総合成績(合計点)

①

調査書点

観点別評価か  
評定を点数化

+

②

面接点

両方の検査を  
合わせて点数化

+

③

作文/小論文点  
または実技など

各学校いずれか  
の検査を実施

※調査書点の配点の割合は総合成績の50%以内



### 【3】学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）

[ 第一次募集・分割前期募集日程 ]

事 項		日 時	
出 願		(入力期間) 令和4年12月20日(火) から令和5年2月 7日(火) まで (書類提出期間) 令和5年2月 1日(水) から2月 7日(火) まで インターネット出願を行い、かつその他出願に要する書類については、上記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。	
志願変更 (注1)	入学願書取下げ	令和5年2月13日(月)	午前9時 ～ 午後3時
	入学願書再提出	令和5年2月14日(火)	午前9時 ～ 正午
学力検査及び面談		令和5年2月21日(火) 集合 午前8時30分 (定時制成人受検者特別措置者も同じ。)	
面接及び実技検査等		令和5年2月21日(火) 以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表		令和5年3月 1日(水) (全日制) 午前8時30分(出願サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示) (定時制) 午前8時30分(出願サイト上で発表) 午後4時(校内掲示)	
合格者の入学手続		令和5年3月 1日(水) (全日制) 午前9時30分～午後3時30分 (定時制) 午後4時 ～ 午後8時 3月 2日(木) (全日制) 午前9時 ～ 正午 (定時制) 午後4時 ～ 午後8時	
選抜用評定等確認表の送付期限		令和5年3月2日(木) から3月8日(水) までに、別表12の中学校長へ各都立高校長が発送する。	

※1 志願変更ができる場合には、制限があります。P.8を参照して下さい。

※2 募集人員を分割し、第一次募集期間における選抜(以下「分割前期募集」と第二次募集期間における選抜(以下「分割後期募集」)の2回に分けて募集(以下「分割募集」)を行う学校は、後日配布予定の「令和5年度東京都立高等学校募集案内」をご覧ください。

#### ①募集人員

募集人員は、「令和5年度都立高等学校等第一学年生徒 募集人員」に定めます。

(10月中旬以降に東京都教育委員会のホームページにも掲載されます。)

#### ②出願方法(特に注意すること)

志願者は、1校1コース又は1科(1分野)に限り出願します。ただし、志望する同一の都立高校内の同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合は、他の全ての科(分野)に志望順位を付けて出願することができます。

#### ③インターネット出願手続(出願者個人で必要な手続)

(1) 入学願書(インターネットの専用サイトから必要事項を入力し、申請する。)

(2) 入学考査料 全日制:2200円(定時制:950円)

(出願サイト上での決済、もしくは所定の納付書により都内の金融機関窓口で納入した領収証書をサイトにアップロードする。)

(4) 自己PRカード(志願者が作成する) \*試験当日に面接試験のある学校のみ。入学手続き時は全員が提出。\*

⑤書類の提出方法

(1) 都内の中学校に在学している志願者は、インターネット上で出願に必要な内容の入力および写真が本人のものであること、志願しようとする都立高校への応募資格があることを中学校長が確認し、中学校長の承認を得る。都立高校長宛てに、出願に要する書類を、中学校を通じて、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに送付します。

(2) 願書提出後、出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更を認められません。

⑥ 受検票の交付 志願者の入学願書等を受け付けた都立高校長は、出願サイト上で受検票を交付します。

⑦ 志願の変更 **全日制の都立高校の志願者は、願書提出後、1回に限り志願の変更をすることができます。**

(例1) 八潮高校普通科出願後、異なる学科である芝商業高校のビジネス科へ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例2) 富士森高校の普通科出願後、コースを置く片倉高校の造形美術コースへ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例3) 国際高校の国際学科出願後、コースを置く小平高校の外国語コースへ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例4) コースを置く深川高校の外国語コース出願後、同じ深川高校の普通科へ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例5) 農業高校の農業に関する学科の食品科学科に出願後、同じ農業高校の家庭に関する学科の食物科へ志願変更をすることができる。(その逆も可能)

⇒(例5)の解説 農業高校の場合 「農業に関する学科」と「家庭に関する学科」の両方があります。

農業科と家庭科は、違う学科なので、志望の変更はできるということです。

再提出 取り下げ		全日制	定 時 制		
			定 時 制 単 位 制		定時制 単位制以外
			チャレンジスクール(注1) および 八王子拓真チャレンジ 枠 グループA(注2)	グループB (注3)	
全 日 制		○	×	×	×
定 時 制 単 位 制	定 時 制 単 位 制	チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) グループA(注2)	○	×	×
		グループB(注3)	×	×	×
		定時制単位制以外	×	×	×

(注1)チャレンジスクールとは六本木高校・大江戸高校・世田谷泉高校・稔ヶ丘高校・桐ヶ丘高校・小台橋高校を意味します。

(注2)グループAとは一橋高校・浅草高校・荻窪高校・八王子拓真高校(一般枠)・砂川高校を意味します。

(注3)グループBとは新宿山吹高校・六郷工科高校・飛鳥高校・板橋有徳高校・青梅総合高校・東久留米総合高校を意味します。

## ⑧ 志願変更のできない場合

入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース及び科(分野)に再提出することはできない。また、同一の都立高校内にある同一学科内の科(分野)相互間の志望順位の変更はできない。

(例1) 園芸高校の農業に関する学科の動物科を第1志望として出願後取り下げ、同じ園芸高校の農業に関する学科の食品科を第1志望として再提出することはできない

(同一校同一学科への再提出はできない。志望の順位の変更もできない。)

(例2) エンカレッジスクールの蒲田高校に出願後取り下げ、チャレンジスクールの六本木高校に再提出することはできない。(全日制課程からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能。)

## ⑨ 志願変更の手続

- (1) 志願の変更をする場合は、志願変更願(様式あり)を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出し、出願に要した書類及び調査書等の返却を受けます。提出の際、生徒手帳などの本人確認ができる物を持参します。
- (2) 都立高校長は、その志願者の提出した入学願書及び自己PRカード等の出願に要した書類及び受検票並びに、中学校長から提出されたその志願者の調査書を厳封して返却します。
- (3) 面接試験のある学校へ志願の変更をする場合は、志願の変更先の都立高校が示した「本校の期待する生徒の姿」を参考にして自己PRカードを新たに作成することになります。
- (4) 志願の変更をする場合は、出願サイト上で必要事項を入力し、返却された出願に要する書類、厳封した調査書(都立高校から返却を受けたもの)、新たに作成した自己PRカード(面接試験のある学校のみ)を指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、出願サイト上で受検票の交付を受けます。
- (5) 大島海洋国際高校出願の生徒は、教職員研修センターで手続きを行うことができます。
- (6) チャレンジスクールおよび八王子拓真(チャレンジ枠)へ出願後、全日制高校、へ志願変更する場合には、新たに調査書及び自己PRカード(面接試験のある学校のみ)が必要です。
- (7) 一橋高校・浅草高校・荻窪高校・八王子拓真高校(一般枠)に出願後、チャレンジスクールおよび八王子拓真(チャレンジ枠)へ志願変更する場合には、自己PRカードに代えて学校指定の志願申告書を提出することになります。

## ⑩ 学力検査等の実施(検査教科等)

- ・学力検査の教科について、全日制は、国語、数学、英語、社会、理科の5教科とします。(ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語、数学、英語の3教科)なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校では学力検査を実施しません。定時制の一部の都立高校においては学力検査を実施する教科について、その高校が定めます。
- ・各教科の満点は100点とし、特定の教科の配点に比重をかける(以下「傾斜配点を行う」)都立高校もあります。(後日配布予定の「令和5年度東京都立高等学校募集案内」冊子の入試実施方法一覧に掲載されます。)
- ・検査教科等のうち、1教科(面接等を含む。)でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなされます。正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。
- ・面接、実技検査等を行う科を第2志望以下の志望順位とした者についても面接、実技検査等を行います。

⑪ 集合時刻及び時間割

(1) 全日制及び定時制

学力検査の教科の時間割は、次の表によります。

	開始時間～終了時間	時間	教科
集 合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分～午前 9時50分	50分	国 語
第2時限	午前 10時20分～午前 11時10分	50分	数 学
第3時限	午前 11時40分～午後 0時30分	50分	英 語
第4時限	午後 1時30分～午後 2時20分	50分	社 会
第5時限	午後 2時50分～午後 3時40分	50分	理 科

英語学力検査の最初の10分間にリスニング検査を行います。

「持ち物」受検票、鉛筆、消しゴム、**直線定規**(角度の目盛りのないもの)、コンパス、**弁当**、**上履き**。

※なお、直線定規については数学以外の教科で使うこともあります。

時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器は原則持ち込まないことになっています。

国際高校及びエンカレッジスクールに指定された都立高校の時間割は、各都立高校 が別途示す。

⑫ 問題作成

(1) 出題の基本方針

ア.中学校の教育課程に基づく学習の成果としての学力を検査することを基本とし、出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている内容によるものとする。

イ.出題の内容は、各教科とも、中学校学習指導要領に示されている教科の目標及び内容に照らして基本的な事項を選ぶとともに、一部の領域に偏ることのないようにする。

ウ.出題に当たっては、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や、思考力、判断力、表現力などをみるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習などの成果もみることができるようになる。

※**自校で問題を作成する高校があります。**

**自校で作成した学力検査問題3教科(国語・数学・英語)と都立高校共通問題2教科(社会・理科)で行います。**

令和5年度自校作成校・・・日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、墨田川、国分寺

なお、国際高校については、英語の学力検査問題のみを自校で作成しています。また、一部の定時制高校でも、自校で作成した問題により入試を行っています。(農産、八王子拓真[一部枠])

⑬ エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考の基本方針

(1)選考は、調査書、面接、小論文及び実技検査の結果を総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料(自己PRカードを含む)により行います。

(2)調査書、面接、小論文又は作文及び実技検査の結果は点数化します。それぞれの満点については、各都立高校が適切に定めます。

**【4】学力検査に基づく選抜（第二次募集・分割後期募集）**

**〔全日制第二次募集・分割後期募集日程〕**

事 項		日 時	
出 願		令和5年3月6日(月)	午前9時～午後3時
志願 変更	願書取下げ	令和5年3月7日(火)	午前9時～午後3時
	願書再提出	令和5年3月8日(水)	午前9時～正 午
学力検査		令和5年3月9日(木)	集合午前8時30分
実技検査及び面接等		令和5年3月9日(木)以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表		令和5年3月15日(水)正 午	
合格者の入学手続		令和5年3月15日(水)正 午～午後3時	
		令和5年3月16日(木)午前9時～正午	

「出願方法」1校に限り出願することができる。ただし、志望校に複数の学科、コース、科(分野)がある場合は、第一次募集・分割前期募集と異なり、志望の順位を付けることができる。(芸術に関する学科は除く。)

**〔定時制第二次募集日程〕**

事 項		日 時	
出 願		令和5年3月22日(水)午後3時から午後7時	
志願 変更	願書取下げ	令和5年3月23日(木)午後3時から午後7時	
	願書再提出	令和5年3月24日(金)午後3時から午後7時	
学 力 検 査		令和5年3月27日(月)集合 各都立高校が定める時刻	
合格者の発表		令和5年3月28日(火)午後3時	
合格者の入学手続		令和5年3月28日(火)午後3時から午後7時	
		令和5年3月29日(水)午後3時から午後7時	

「出願方法」1校に限り出願することができる。ただし、志望校に複数の学科、コース、科(分野)がある場合は、第一次募集・分割前期募集と異なり、志望の順位を付けることができる。(芸術に関する学科は除く。)出願は書類持参。

①「出願願手続」

全日制の入学願書は、分割後期募集・全日制第二次募集用を用い、定時制の入学願書は、定時制第二次募集用を用いる。なお、成績一覧表の提出は、出願期間中(志願変更期間を含む)とする。\*郵送ではなく持参する。\*

②「志願の変更」

分割後期募集・全日制第二次募集における志願変更は次の表の○を付した変更について、1回限り行うことができる。

再提出 取り下げ	全 日 制	定時制単位制
		チャレンジスクール(注1) 八王子拓真チャレンジ 枠 およびグループA(注2)
全 日 制	○	×
定 時 制 単 位 制	チャレンジスクール(注1)、 八王子拓真チャレンジ 枠 グループA(注2)	○ ○

(注1) チャレンジスクールとは六本木高校・大江戸高校・世田谷泉高校・稔ヶ丘高校・桐ヶ丘高校をいいます。

(注2) グループAとは一橋高校・浅草高校・荻窪高校・八王子拓真高校(一般枠)・砂川高校をいいます。

## 「志願の変更」の例

(例1) 深川高校の普通科を第1志望、外国語コースを第2志望として出願後取り下げ、田柄高校の外国文化コースを第1志望、普通科を第2志望として志願変更できる。

(例2) 農業高校の服飾科を第1志望、都市園芸科を第2志望、食物科を第3志望として出願後取り下げ、多摩工業高校の機械科を第1志望、環境科学科を第2志望として志願変更できる。

ただし、次の都立高校へは入学願書の再提出はできない。

- ・入学願書の返却を受けた学校。
- ・大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校(ただし、大島高校と大島海洋国際高校間の志願変更はできる。)

## 「志願変更の手続」・・・第一次募集と同じ

### 「定時制第二次募集における志願変更」

1回に限り行うことができるが同一の高校へは再提出することはできない。募集を行う高校間で志願変更可。

### 「志願変更の状況の発表」

#### ① 分割後期募集・全日制第二次募集

入学願書取下げ人員を3月7日(火)正午・午後3時、再提出人員を3月8日(水)正午に発表する。

#### ② 定時制二次募集

入学願書取下げ人員を3月23日(木)午後7時、再提出人員を3月24日(金)午後7時に発表する。

#### ③ 「学力検査等の実施」

分割後期募集は、国語、数学及び外国語(英語)の3教科と面接となります。

第二次募集は、原則として、国語、数学、外国語(英語)の3教科とし、面接等については各都立高校が定めます。

・1教科でも受検できなかった場合には、受検を放棄したものとみなされます。

・面接、実技検査等を行うコース及び科(分野)を第2志望以下の志望順位とした者についても、面接、実技検査等を行います。

・なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しません。

#### (1) 全日制 学力検査の時間割

	開始時刻～終了時刻	時間	教科
集合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分～午前 9時50分	50分	国語
第2時限	午前10時20分～午前11時10分	50分	数学
第3時限	午前11時40分～午後 0時30分	50分	英語

ただし、エンカレッジスクールに指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定めます。

(2) 定時制 集合時刻および時間割は、各都立高校が定めます。

#### 「問題作成」

全日制・・・第一次募集に準じて作成されます。(共通問題)

定時制・・・第二次募集は、自校作成問題です。

## 【5】インフルエンザ等に対する追検査および追々検査について

第一次募集において、インフルエンザ等の学校感染症に罹患する又は新型コロナウイルス感染症への感染が疑われるなど、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者、または、検査当日に37.5度以上の発熱が認められ、当該検査を受検せずに追検査の受験を希望した者に対して、追検査を実施する。また、追検査で出願した都立高校を受検できなかった者、または、分割後期募集で出願した都立高校を受検することができなかった者のうち第一次募集または分割前期募集で都立高校を受検することができなかった者に対して追々検査を実施する。  
\*濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている期間が終了していなくても、一定の条件を満たせば別室での受験が可能です。\*

### 【対象校】

追検査：第一次募集実施校（分割募集をしない学校）

願書受付：3月6日（月）、学力検査：3月9日（木）、発表：3月15日（水）

追々検査：追検査のあった都立高校 または 分割後期募集を実施する都立高校

願書受付：3月22日（水）、学力検査：3月27日（月）、発表：3月28日（火）

### 【実施日程】

追検査：分割後期募集・全日制第二次募集と同日程で実施

\*追検査を受検する場合、分割後期・第二次募集には出願不可\*

追々検査：定時制第二次募集と同日程で実施

### 【応募資格】

- ・第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患した者又は出席停止中の者
  - ・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に指定された者
  - ・行政検査であるPCR検査の結果を待っている者
  - ・第一次募集の検査日当日に37.5度以上の発熱がある者
- 以上の条件のいずれかに該当し、一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者（1教科でも受験した者は除く。）のうち、追検査の措置を申請し、当該都立高校長から承認を得た者

### 【出願方法・出願手続】

- ・令和5年2月22日（水）午後5時までに、第一次募集において出願した都立高校長に申請する。
- ・追検査では、第一次募集において、第一志望とした科（分野）又は部に限り出願することができる。
- ・追検査に出願した者は、分割後期募集・全日制第二次募集に出願することはできない。
- ・追々検査では、追検査で出願した科（分野）もしくは部、または分割後期募集において第一志望とした科（分野）もしくは部に限り出願することができる。
- ・追々検査に出願した者は、定時制第二次募集および全日制第三次募集に出願することはできない。
- ・追検査、追々検査ともに出願した者は、志願変更をすることができない。
- ・出願の際に、所定の入学願書のほか、医療機関の証明書又は中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類を提出する。

### 【学力検査等の実施】

- ・国語、数学、英語の3教科及び面接等（理科と社会の内容について口頭試問を行う予定の高校もある。）

## 【6】調査書について

### ①「成績について」

高校に提出する成績一覧表に記載される成績は観点別学習状況の評価及び観点別学習状況の評価を総括した評定になります。成績一覧表に記載する予定の第3学年の第1学期および第2学期を通じた総合的な評定を2学期の通知表に記載します。1月初旬の成績一覧表審査会を経て決定となるため、**最終的な評定は、推薦入試受験者は1月17日(火)、一般入試受験者は1月31日(火)までに配布する「調査書記載事項通知書」でお伝えします。**

◇出席日数が少ないため、参考のできる資料等を活用しても観点別学習状況の評価を行うことができない場合、また、評定を行うことができない教科がある場合、調査書所定の欄のうち記入できる事項についてのみ記入し、その旨を明らかにした理由書(中学校所定)を提出することになります。

### ②総合的な学習の時間の内容及び評価

ア 中学校第3学年における総合的な学習の時間で設定した課題及び内容を記入します。

イ 学習状況及び成果を評価し、文章で記入します。

(例)・課題を「地域の未来を考える」と設定し、住みよい地域社会づくりの視点から資料収集・調査活動等を行い、地域の方々を招いて成果を発表した。課題を発見する能力、分かりやすくまとめる力、発表での表現力が向上した。

### ③諸活動の記録

特別活動等並びにその他の学校内外の活動のうちから、当該志願者において特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を、所見を除いた客観的な記録として記入します。

なお、「諸活動の記録」の記入に当たっては、学級担任、教科担任の意見のみでなく、関係教職員の意見等を総合して記入し、校長が確認します。また、顕著な成果のある活動だけでなく、次のような活動についても記入することができます。

ア) 当該志願者が積極的な態度や意欲をもって取り組んでいる活動

イ) 当該志願者の人間形成上好ましい影響のある活動や他の生徒に好ましい影響を与えている活動

ウ) 当該志願者の中学校3年間における継続的な活動又は各学年における特筆すべき活動

(例)

- ・図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)
- ・テニス部員として区大会新人戦で3位入賞(第1学年)
- ・〇〇検定〇級を取得(第3学年)(実用英語技能検定、日本漢字能力検定など)
- ・高齢者福祉施設を定期的に訪問(第1学年～第3学年)

### ④ 調査書記載事項の通知

成績一覧表を作成した中学校長は、それに記載した各教科の観点別学習状況の評価及び評定に加え、総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録等が記載された調査書の内容について、**推薦入試受験者は1月17日(火)、一般入試受験者は1月31日(火)までにそれぞれの生徒の保護者に通知します。**

ただし、都立高等学校を受検する予定のない場合は調査書記載事項通知書における総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録の欄は斜線でもよいことになります。



### 3. 私立高校の入試概要

私立高等学校の入試は、基本的には**推薦入試**と**一般入試**の二種類です。

#### 入試日程(東京都内私立高等学校)

推薦 出願 1月15日(日)～ 入試 1月22日(日)～ 発表 (学校によって異なります)

一般 出願 1月25日(水)～ 入試 2月10日(金)～ 発表 (学校によって異なります)

#### 【1】入試形態について①

一般的な私立高校の受験の形態について、表にまとめてみました。なお、これらの形態は、学校によって名称が違っていたり、このような形態を取っていない学校もありますので、受験希望者は必ず学校説明会や募集要項・ホームページなどで確認をしてください。

		受験にあたっての条件	事前相談
推 薦 入 試		①その学校を第一希望としている生徒。 ②中学校の校長の推薦がある生徒。 ③人物が優れていて、生活や行動に問題がない生徒。	原則として、 <b>※事前相談</b>
一 般 入 試	併願優遇 受験	①他の公立高校(私立高校)が第一希望だが、不合格となった場合、その高校に入学することを希望する生徒。 ②各学校が示す成績等の基準に該当している生徒。	
	フリー受験	とくに条件無し。	事前相談なし

#### ※事前相談

事前相談は、推薦・併願優遇の入試を希望する生徒を対象として、中学校と高等学校の教員間で あらかじめ基準等に関する確認をするためのものです。この事前相談は、12月15日から実施する取り決めとなっており、相談期間は高校ごとに定められています。

#### ①〈推薦入試〉

基本的に学力試験を実施しない入試。面接はほとんど実施される。

高等学校側から提示される一定の基準を満たしていれば、合格の可能性が極めて高くなる。

高等学校との事前相談の時点で、定員がかなりオーバーした場合には、基準を満たしていても一般入試(第一志望優遇制度を利用)の扱いになってしまうこともあります。

例) 9教科素点合計〇〇以上、「1」がないこと、欠席〇日以内、遅刻早退〇回以内

高等学校と各中学校との信頼関係で成り立っています。

「中学校側で人物を保証できる」ということが前提の制度です。安易に受験の手段として捉えないでください  
キャンセル・不受験は、道義的に考えても不可です

※ 過去に不合格となった場合

・当日、受験しなかった場合                      ・面接での態度が悪かった場合

\*推薦で合格した場合、都立高校を含め他校の受験は一切できません

## ② 〈併願（併願優遇）〉

- 学力試験（と面接）が実施される入試。
- 高等学校側から提示される基準は推薦入試よりも高い基準になる。
- ほとんどの高等学校で、都立高等学校との併願に限り入学金の延納を認められる。
- 推薦入試同様、合格の可能性は非常に高いが、一定の加点のみを行う学校もある。

### \*【実際に「説明会」・「体験入学」・「文化祭」などに参加して選ぶ】\*

私立高等学校を選ぶ時、まずパンフレットや学校案内の内容を見るだけでなく、実際にその学校まで【足を運ぶ】ことも大切です。最寄り駅からその学校まで実際に歩いてみてください。「この学校に入学したら、毎日この道を通学するんだ」という意識を持つことが大切です。併願校であっても、第一志望校が不合格だった場合、実際に進学する学校として考えてください。特に説明会等では、推薦制度における加点項目（英検3級で+1など）があるのか確認してください。音楽・美術などの技能的な学科・コースの場合には、体験入学に参加していない生徒の応募は受け付けないという学校もありますのでお気をつけください。



③ 自己推薦入試などもあります。学校によって様々な入試制度があるので、説明会やHPの資料をご確認ください。

## ④ 〈フリー〉 《2月10, 11, 12日を中心とする日程（都内）》

- 学力試験（と面接）が実施される入試。
  - 試験当日の成績重視。得点の高い順に合格者を出していく。調査書の扱いは各校による。
- ※ 推薦制度と併願優遇制度で募集人員のほとんどが充当されてしまう学校もあります

### 【お願い】

近年、私立高等学校の入試制度が多様化しています。私立高等学校の入試制度は、学校によって全く違い、すべての私立高等学校に関して中学校側が完全に把握しきれない現状があります。

志望校についての詳細は必ず担任に連絡してください。また、インターネットによる出願を行う高校が多いです。必ず学校説明会や募集要項・ホームページなどで出願形態を確認してください

### 【3】推薦入試制度のまとめ

都内の私立高校の推薦入試は1/22から選抜が始まりますが、入試相談は中学校と高校間で12月15日以降に行われ、受験生の名前を提示してその実績を伝え合格可能性等を確認します。合格の確約や内定は禁止されています。選抜は中学校長の推薦書、調査書、作文、面接、実技、適性検査等で行います。適性検査は3科合計60～90分程度で公立高校よりも易しい内容のものが多いようです。中には2教科選択や5科目の総合的な出題をする学校もあります。面接と作文、あるいは面接中心の学校もみられます。

#### [推薦等優遇制度の特徴]

推薦	第一志望者が対象、中学校長の推薦書が必要、合格したら入学するのが前提。 入試相談が行われ、内申基準を満たし、出願が認められれば合格の可能性が極めて高い学校が多い。適性検査を実施する学校では、その結果次第で不合格になることもある。 内申基準重視型と適性検査重視型の2種類の推薦を行う学校がある。 入試相談をせず、内申等の応募資格のみを示す学校もある(不合格者も多く出る)
特待生推薦	学業やスポーツ関連で特に優れた力があると認められれば、入学後の学費を考慮。
自己推薦	中学校長の推薦書にかわる書類提出で推薦を受け付ける。受験生、保護者が個別相談に参加することが必要なケースが多い。自分自身を推薦するために、成績や学力等を示す客観的材料が必要となる。欠席が多いなどの際に、考慮してくれる場合もある。
スポーツ 文化 一芸一能推薦	中学校内外での活動実績がある第1志望者が対象、中学校長の推薦書が必要。 各種大会、コンクール実績、検定資格など、学力基準以外の要素が大きい。
第一志望 (一般入試)	一般入試の際に、合格したら入学することを前提に受験する生徒を優遇。 入試点に一定の得点を加算するケースが多い。
併願優遇 (一般入試)	他校を第1志望とする受験者が対象。 入試相談が行われ、内申基準を満たし、制度適用が認められれば、合格の可能性が高い学校が多いが、入試点に一定の得点を加算するだけの措置をとる学校もある。(加算しても合格点に達しなければ不合格となる)

#### 【延納制度について】

他校が第一志望の場合、入学金等の延納を認めている学校もあります。

手続き、期日は学校によって異なりますので、実施要項、説明会等で確認してください。

#### 【「B推薦」について】

埼玉県と東京都では入試制度が大きく異なります。そのために作られたのが、「B推薦」と呼ばれています。東京都では、私立高等学校の一般入試が2月10日から始まりますが、埼玉県では1月22日から一般入試が始まります。なお、東京都の私立高校では、都内生に対してこの制度を適用することは認められていません。

私立高校の入試相談について(「推薦」「併願優遇」制度を使う場合)

「推薦」「併願優遇」制度を使う場合には、必ず、中学校側と高等学校側の「入試相談」を行います。

中学校側からの生徒受験者の登録を行い、一般受験者(フリー受験)と「推薦」「併願優遇」の区別がなされます。このときには中学校側では「人物」を保証することになります。

学業成績及び人物に問題がなく入学後には立派に活躍できることを保証するのです。

したがって「推薦」「併願優遇」制度を使う場合には、必ず、学校長宛に「推薦願」「併願優遇願」を保護者が提出することになります。内容を確認し、必要事項をご記入の上、提出してください。

## 【4】小金井市中学校推薦統一基準

### 1 推薦受験にあたって

都立高等学校・私立高等学校・専修学校等には、推薦受験制度があります。

推薦に関しては、「学校推薦」という形になっていることが多く、その場合には、所属する校長の推薦を受け、出願できるようにになっています。校長の推薦を受けるにあたっては、中学校内外での生活態度や中学校での学業成績、志願理由などを総合的に判断して、推薦生徒としてふさわしいということが認められなければなりません。

### 2 本校の推薦基準

- ①推薦を希望する学校を志願する理由や、入学後の目標が明確であること。
  - ②「第一志望」で合格した場合は、その学校に必ず入学すること。
  - ③基本的な生活習慣（生活面、学校面）が確立し、学校のルール（決まり、服装、時間など）がきちんと守られていること。
  - ④授業に真剣に取り組み、学力の向上に励んでいること。
  - ⑤上級学校（私立）が基準としている評定や欠席日数の条件を満たしていること。
  - ⑥上級学校の求めている生徒像（リーダー性、ボランティア経験等）に見合っていること。
- \*生徒・保護者からの推薦願いが出された者の中で、以上の推薦基準を満たしている場合、学年及び推薦委員会で推薦の可否を検討した上で、最終的に校長が判断します。

### 3 その他の留意点

- ① 上記の推薦基準はすべての学校推薦に適用されます。
- ② 1・2年生時の欠席日数が多い場合には、推薦できないこともあります。
- ③ 推薦の基準に、全ての教科に「1」、もしくは「1」「2」がないことを条件とする学校が見られます。
- ④ スポーツ推薦希望者も、上記の推薦基準等が適用されます。
- ⑤ 自分が合格しても、学級・学年全体の雰囲気を崩すことなく、推薦入試で不合格になった人やこれから受験する人の気持ちを考えて、学校生活を一生懸命に送ることが大切です。

### 4 最後に

普段からきちんとした服装、しっかりした生活態度をしていれば何も問題はありません。義務教育を終え、自分が選択した進路を歩いていくことになったとき、新しい生活の中で適応していけるように、気持ちを切り替えて、前向きに生活していけるようにつとめましょう。

## 【5】高等専門学校・企業内学校・高等専修学校・就職について

### 高等専門学校

工業に関する専門的な深い知識を学ぶことを目的とし、**5年間で卒業する学校。**  
資格としては、3年間で高等学校卒業の資格、卒業時には**短大卒業と同じ資格が与えられる。**  
したがって、卒業後に4年制大学の第3学年へ編入する生徒も見られる。

都内国立 1校 東京工業高等専門学校  
都立 1校 産業技術高等専門学校  
都内私立 1校 サレジオ工業高等専門学校

### 企業内学校

昼間部3年間で、その会社に必要な専門教科、技術教科を学びます。また、高等学校との提携により、一般教育も履修し、高等学校卒業の資格も同時に取得できます。給与も支給され、卒業後はその会社に採用されます。

- 日野工業高等学園（日野自動車、日野市）
  - ・技能連携制度により、高等学校卒業資格が得られる。
  - ・卒業時に技能士補を取得できる。
  - ・修業年限は3年、選考は、「国、数、英、作文、面接、適性検査」
- トヨタ工業学園（トヨタ自動車、愛知県豊田市）
  - ・技能連携制度により、高等学校卒業資格が得られる。
  - ・全寮制、選考は「国、数、英、面接、適性検査」

### 高等専修学校

高等課程 中学校卒業者が対象  
専修学校 専門課程 高等学校卒業者が対象  
一般課程 学歴、年齢等問わず

- 職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行います。
- 提携校との連携によって、高等学校卒業資格が得られる学校もあります。
- 他の高等学校との併願が可能な学校もあります。
- 進学希望が固まり次第、早めに申し出て下さい。時期が遅くなると入学定員に達してしまうことがあります。

※ 多種多様な分野の専修学校があります。具体的な校名、内容は担任や学年教員に問い合わせてください。

### 就 職

- 就職を希望する場合は、決定した時点ですぐ担任に申し出て下さい。
- 就職担当者が就職相談票を作成し、ハローワーク立川に連絡、求人票を見ながら受験する事業所を決めていきます。
- あいまいな気持ちでの就職は、早期離職につながります。自分の気持ちをしっかり固めてから就職活動をしてください。
- 進学を希望しているが、希望通りにならなかった場合は就職したいという場合も、担任に申し出ておいてください。
- 知人の紹介で就職しようという場合（縁故就職）も連絡してください。

# 提出書類一覧

No.	提出書類	締切日	該当者
1	第3回進路希望調査	10/20(木)	全員
2	調査書用記載事項確認書	10/26(水)	
3	第4回進路希望調査	11/21(月)	
4	漢検・英検等の合格証書コピー	第4回三者面談日	入試相談に必要な者
5	都立・私立 単願推薦願	第4回 三者面談後	希望者
6	私立 第一志望優遇願		
7	私立 併願優遇願		
8	調査書作成願		全員
9	都立高校願書	推薦入試 1/11 一般入試 1/21	都立 受験者
10	自己PRカード	1/10	全員